

日本共産党 ひめだ高宏ニメ

NO. 77

10.5.12

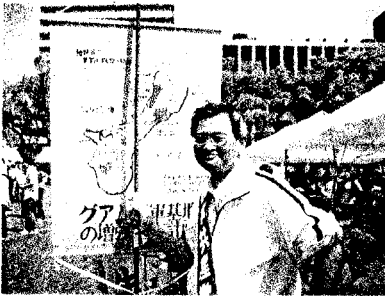
メーデーまさくに晴れたら月

5月1日(土)和歌山城西の丸広場で和歌山県中央メーデーが開かれました。この日は、晴天。絶好のメーデー日和でした。私、ひめだは手作りプラカードを持ち新しい「日本共産党」のタスキをつけて参加しました。徹夜で作ったプラカードは水色の地に沖縄(黄色)とグアム(薄緑)の米軍基地(赤)



[沖縄の米軍基地]

カラーで見せられないのか残念



[グアムの米軍基地の増強計画]

(学習協の松野秀樹社 撮映)

フリーの人々

<620>

① 5年後の時
メーデーには手作りプラカードがほしい。今年のテーマはスバリ沖縄ヤナ

② 材料調達(色画用紙)
木枠用角木
沖繩の海兵隊は「アムンデ」
フムム

③ 段ボールの土台に色画用紙をはりつける
ちやちやとヤッたら、すぐできる

④ 5年前の時
なんとか今年のメーデーにまにあいたい

「働きがいのある世の中を」吉田まさや候補

メーデー式典では、主催者あいさつで武内正次県地評議長が沖縄普天間基地、後期高齢者医療制度、派遣労働、消費税などの諸問題をあげ、「民主もため、自民もための大きな流れが広がっている」と指摘。国民の願いが実現する政治をつくらうとよびかけました。

各分野の決意表明では、ニューヨークのNPTへ核不拡散条約を再検討会議の要請団の中田さんが閣空から核兵器廃絶を携帯電話を通じて訴えました。日本共産党の吉田まさや参院選挙区候補は、「働きがいのある世の中を」

こんにちは ふじい健太郎

生活保護の受給世帯が急増しています。今年1月の速報値では、1年間で15万世帯増え、132万世帯になったと伝えられています。

和歌山市に聞いてみると、今年3月末で5764世帯、7555人、その内の53%が高齢者世帯ということ。貧弱な年金制度など老後保障のありかたにも問題があります。最近が高齢者や障害者でもない人で生活保護申請者が増えているとのこと。ちなみに、全国の子育て中の世帯で年収300万円未満の世帯の割合が06年には12.3%となり、最近ではさらに増えつづけています。無収入状態の失業者は、250万人にもなっています。くらしと経済の立て直しは急務の課題となっています。



ふじい健太郎 国会議員

式のおとは、和歌山城のまわりをデモ行進。青空の下でおいしい弁当をいただきました。

核兵器廃絶めざし平和行進

核兵器廃絶、被爆者援護
 ・連帯をかけた雨の日も風
 の日も、被爆地の広島・長
 崎をめざし全国から歩いて
 つなげる国民平和大行進（
 平和行進）は、1958年
 に始まり、今年は53回めに



2010
5月→8月
国民平和
大行進

なります。6日に東京・菅
 の島を出発した東京・広島
 コースを皮切りに全国11の
 幹線コースと全自治体の通
 過を目的にした網の目行進
 があります。和歌山・広島
 コースは、7日に新宮市を
 出発しました。

経済二人談会
経済危機から国民の暮らしを守るために政治は何をなすべきか

危機的な日本経済を打開するための
 日本共産党の提言を吉井英勝衆院議員が
 報告します。ぜひおこしください。

5月29日(土) 18:30~
プラザ・ポー
 吉井英勝 衆院議員 (主催) 日本共産党和歌山県委員会 425-411



吉井英勝 衆院議員

こどもには 日本共産党 です



岩出市で訪問している
 と、小学生の子どもをも
 つお母さんからこうい
 う話を聞きました。

「岩出市では、6歳ま
 でしか医療費が無料にな
 りません。隣の紀の川市で
 は、小学校卒業まで無料に
 しているの、ぜひ岩出市
 でもやってほしいです。耳
 鼻科や歯医者に行くことが
 多いので、けっこう医療費
 がかかるんです。私にもこ
 人の子どもがいるので、と
 も身近に感じました。

私は、この声にこたえて
 子どもがお金の心配なく、
 医者にかかれるように、
 国の制度として医療費無
 料化を実現するために頑
 張ります。そうすれば、
 各市町村でも施策を広げ
 て小学校卒業まで医療費
 を無料にすることができ
 ます。



吉田まさや (参院選挙区)

日本共産党 和歌山後援会 ハンドマイク宣伝とプラザ



5月8日(土)午前10時
 から和歌山浦口のスーパーゴ
 トウ前で、日本共産党和歌
 浦後援会がハンドマイク宣
 伝とビラまきをしました。

吉田まさや参院選挙区候
 補は、普天間基地の無条件
 撤去を訴えました。吉田候
 補は、鳩山首相がすすめる
 普天間基地の沖縄県内移設
 と鹿児島県徳之島への部
 移転について、公約違反だ
 と批判。無条件撤去の声を
 あげましょうとよびかけま
 した。

茂野嵩さんの自分史「共に」

日本共産党の元和歌山県
 委員長茂野嵩さんから「
 共に」と題した冊子が私
 ひめた宅に届いたのは、海
 南市議選のお手伝いをし
 ていた時でした。読んでか
 らお礼状を出そうと思っ
 たまま選挙が終わってもそ
 のまま置いていました。メ
 ーの会場で茂野さんを見
 てそのことを思い出し、連
 帯に読ませてもらいました。
 茂野さんは徴兵で海軍へ
 行ったと、海軍での生活
 が綴られていることが特に
 印象的でした。それは、私
 が小学6年の時に亡くなっ
 た私の父も海軍に行っ
 たと聞いていたからです。
 久しぶりに父の背中を見
 たようになつた気が
 持ちになりました。